

第2学年 生活科学学習指導案

日 時 平成23年11月16日(水) 5校時
児 童 男子25名 女子24名 計49名
指導者 菅原 成子 佐々木 いずみ
場 所 2年生教室・オープンスペース

1 単元名 いっしょがいいね

2 単元を展開するにあたって

(1) 児童の実態

- ・児童は、町探検の学習で自分の調べたいことや疑問を明確にしてからグループごとにまとめ、それを見学先で質問しグループ内で確認したり修正したりしながら「町たんけんニュース」にして友達や家の人に伝えてきた。また、野菜や生き物を育てる学習では、国語で学習した観察の視点を意識して記録したり、疑問を本で調べたりして観察メモやポスターにまとめる学習を繰り返してきた。これらの学習の中で、自分の考えをもって話し合いに臨むようになってきている。しかし、友達に意欲的に伝えることはできるものの、めあてに向かって話し合い、自分の考えを修正したりグループの考えをまとめたりすることはまた難しい状況である。また、ポスターなどに表現する活動では、相手に分かりやすく伝えるために、内容や表現の工夫については繰り返し学習していくことが必要である。
- ・教室での様子を見ると、係の仕事や身の回りのことをきちんとやり、さらに協力したり進んで仕事を見付けたりできる児童がいる反面、できない児童が半数程いる。だが、普段は友達同士、声を掛け合ったり教え合ったりしながら係の仕事などは概ねできている。
- ・夏休み明けにPTA活動の一環として保護者に「会員一人一人で行う活動」の振り返りとしてアンケートを実施した。その中で家庭内の子どもの役割について取りまとめた結果は下記の通りであった。

1 家庭内で子どもに役割(手伝い・家の仕事)をもたせているか。

①もたせている14人

②必要なときにさせる32人

③もたせていない3人

2 その役割をどのように果たしているか。(①と②の回答者のみ)

①自ら進んで果たしている13人 ②促してやらせている。32人 ③やらないときがある1人

ほとんどの児童は何らかの仕事をしているが、責任をもって決まった仕事をしているわけではなく、促されて行うことが多いことが分かった。これとは別に学年で保護者にアンケートをとった際、「自分が使った物は片付けてほしい。」「自分のことを自分でしてほしい。」という自立を期待する内容も少なくなかった。

(2) 単元について

- ・本単元は、目標の(1)(3)及び、内容2「家庭生活を支えている家族のことや自分でできることなどについて考え、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活することができるようにする。」に重点を置いて設定したものである。
- ・身近にいる家族の存在や役割について当たり前のように思っている子どもたちが、まず、自分の家族の役割について取材することによって、家族と共にいる喜びやありがたさを改めて実感することができるであろう。そして、家族がより楽しく生活するにはどうしたらよいか考えること、家庭での仕事や手伝いを実践すること、自分でできることを増やしていくことが家族の喜びにつながると気づき、家族の一員である自分の存在をより意識できる単元と考えた。
- ・この単元を通して、家族の一員として自分にできることを考え、継続して取り組めるように計画し、忘れずに実践できることを目指したい。その実践を伝え合うことを通して、やり方を工夫したり他の仕事へと広げたりすることができる。また、家族のために取り組もうとする意欲の向上や、できることが少

しずつ増えていく自分自身のよさ、生活を支えている家族の存在のありがたさを再確認することを期待する。

(3) 指導にあたって

<であう>

家庭生活を支える家族のことや自分の事を考え、自分と家族とのかかわりに関心をもてるようにするために、家族の役割を考えたり、家族との楽しい思い出などを振り返ったりできるようにする。

<かかわる>

家族の一日の様子や家庭生活での役割について調べ、家庭生活に必要な仕事や自分のためにしてくれていることに気付くことができるようにする。また、自分ができそうなことを考えて仕事や手伝いを計画し実践させ、自己評価や家の人からの評価によって達成感をもたせると同時に、課題も意識させたい。さらに自分の実践を友達と交流し合うことで、各家庭には様々な仕事や工夫があることに気付かせたり、他の仕事や手伝いへの意欲をもたせたりしたい。

<あらかわす>

家族が喜ぶ「にこにこ大きくせん」をすることを知らせ、前時までの実践の振り返りや話し合いを基に、工夫したり継続したり広げたりすることができるようにしたい。また、自分のことは自分であることが家族の喜びでもあることに気付かせ自立の視点も加えたい。その際に、自分が納得して取り組むことができるように動機付けや計画、準備ができるよう支援の工夫をする。実践したことを振り返り、これまで学習した表現方法でまとめ、伝え合うことで、家族が喜ぶことには色々な方法があることに気付かせたい。

<ひろげる>

冬休みにも「にこにこ大きくせん」を継続したり、年末年始ならではの自分の役割を考えたりして冬休みの計画を立てさせ、学習したことを生かしたい。

3 単元の目標

(1) 目標と評価規準

| |
|---|
| <p>家族とともにしていることや家族にしてもらっていることを振り返ることを通して、家庭生活を支えている家族のことや自分にできることなどについて考え、自分の役割を進んで果たそうとする。</p> <p>[関心・意欲・態度] 家庭生活を支え合っている家族の仕事や役割に興味・関心をもち、進んで調べたり、自分にできることを行ったりしようとしている。</p> <p>[思考・表現] 家庭生活やそれを支えている家の人のこと、自分のことや自分でできることなどについて考え、家庭生活が楽しくなるように工夫し、それを振り返って表現し友達と伝え合っている。</p> <p>[気付き] 家庭生活が家族によって支えられていることや家庭における自分の役割に気付いている。 家族が喜ぶことには、それぞれの家庭で色々な方法があることに気付いている。</p> |
|---|

(2) 育てたい力

| 育てたい力 | 方法 |
|--------------------------|--|
| 身近な人々や社会、自分とのかかわりなどに気付く力 | <ul style="list-style-type: none"> ・家族の1日の過ごし方を取材させ、家族一人ひとりがどんな役割をしているか、自分がどんなことをしてもらっているかに気付かせる。 ・家族が喜ぶような「にこにこ大きくせん」を考えさせる。 ・自分の実践に対して家族に評価をしてもらい、よかった点や改善点について考えさせる。 |
| 興味あるものに積極的に働きかける力 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の計画した家庭での仕事や手伝いを実践させる。 |
| 気付いたことや考えたこと | <ul style="list-style-type: none"> ・自分が行った「にこにこ大きくせん」についてまとめさせる。 |

5 本時の学習

(1) ねらい

- ・グループで話し合ったり発表を聞いたりして、家族を喜ばせるには色々な方法があることに気付くことができる。[気付き]
- ・家族のために自分ができることを考え、自分の「ここにこ大きくせん」の取組を決めることができる。[思考・表現]

(2) 仮説と関わって

【手立て1 自分の思いをもたせる工夫】

- ・前時までに行った活動の内容や成果や課題が分かるような掲示を参考にさせ、グループで家族が喜ぶことについて考えを交流させる。
- ・自分の思いが明確になり、次の計画作りにつなげられるように学習シートを工夫する。

(3) 展開

| 学習活動・予想される児童の反応 | 形態 | 教師の支援 | 評価 [観点] (方法) |
|--|----|---|---|
| <p>1 前時の活動を振り返る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・上手にできて褒められたよ。 ・とても、喜んでくれた。 ・言われてからすることがあったな。 ・毎日できなくて残念だった。 </div> | 全 | <ul style="list-style-type: none"> ・友達が挑戦した家庭での仕事や手伝いは、様々な種類があったことや、成果や課題があったことを確認する。 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【手立て1】</p> <p>前時までにとまとめたことを掲示して振り返ることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族のためのたくさんの仕事 ・仕事のやり方の工夫 ・自分にできる仕事、自分にはまだできない仕事 </div> |
| <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「ここにこ大きくせん」を考えよう。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・今度こそ毎日やって喜んでもらいたい。 ・今度はもう少し上手にやってほめられたい。 ・他のことにも挑戦しようかな。 </div> | | <ul style="list-style-type: none"> ・前回の活動よりももっと家族が喜ぶ顔が見たいという意欲が高まるようにめあての確認をする。 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【手立て1】</p> <p>前時までに行った活動の内容や成果や課題が分かるような掲示を参考にさせ、家族が喜ぶことについてグループで考えを交流させるようにする。</p> </div> |
| <p>3 家族が喜ぶこととはどんなことグループで話し合って考える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日ちゃんとお手伝いすること。 ・上手にやること。 ・新しい仕事やお手伝いをする。 ・頼まれたらすぐやること。 ・誕生日会を開くこと。 ・自分の事をちゃんとやること。 ・遊んだものを忘れずに片付ける。 </div> | グ | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの活動を工夫・改善したり、さらなる活動を加えたりすることについても視点に入れるように助言する。 ・メモを取り、発表することを知らせる。 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[気付き]</p> <p>家族が喜ぶことにはいろいろな方法があることに気付いているか。</p> <p>(観察・メモ)</p> </div> |

| | | |
|--|--|--|
| | | |
|--|--|--|

| | | |
|---|---|--|
| <p>4 話し合ったことを発表し、家族が喜ぶことにはどんなことがあるかまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞を取ってくる。 ・カーテンを開ける。 ・くつをそろえる。 ・食事の後片付けを手伝う。 ・毎日、決めたことを進んでやる。 ・時間を決めておふろの準備をする。 ・すみのほうまで上手に掃く。 ・言われたことをすぐにやる。 ・学校の道具を自分でそろえる。 ・自分のものを片付ける。 | 全 | <ul style="list-style-type: none"> ・発表したものは、仕事や手伝いの「どんな（種類）」「毎日（継続性）」「上手に・すすんで（質）」「自分で（自立）」のどれにかかわるか分類して掲示したい。 ・自分の事を自分でできるようになることも家族が喜ぶことであることに、アンケートの結果を基にして気付かせたい。 |
| <p>5 「にこにこ大作戦」で何をするか自分の家庭を想定しながら学習シートに必要なことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「何を」玄関のくつを毎日そろえる。 ・「いつ」夕飯を食べ終わったら。 ・「なぜ」くつをそろえるとみんなが潮気持ちよく出かけられるから。 ・「めあて」毎日夕飯を食べたら忘れずにくつをそろえる。 <ul style="list-style-type: none"> ・「何を」自分で道具をそろえる。 ・「いつ」ねる前。 ・「なぜ」いつも、自分でそろえなさいと言われてからやるから。自分でできることだから。忘れ物をするとこまるから。 ・「めあて」毎日、自分で忘れないように道具をそろえる。 | 個 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【手立て1】 学習シートに「何を」「いつ」やるのか「なぜ」やるのか、「めあて」を書かせる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な種類の中から、自分がどんなことをするとにこにこするのか、家族のことを考えながら決め、学習シートに書かせる。 ・「なぜ」の欄には、「それをするとなぜ家族がにこにこになるのか」という視点を与えて書けるようにし、動機付けとして大事に扱いたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【思考・表現】 「にこにこ大きくせん」で自分の思いが明確になるように必要なことを書いているか。 (学習シート)</p> </div> |
| <p>6 次時の活動を確認する。 計画表を作成することを知らせる。</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・手伝いや仕事の拡充を期待するが、自分が納得し理由が明確であれば、自立にかかわる作戦だけを立ててもよいことにしたい。次時の計画を立てる際に、友達と交流したことでさらに活動が増えることも認めるようにする。 |

4 単元の計画（本時9 / 14時間）

| 過程 | 小単元 | 主な学習活動 ◎ねらい ○活動 予想される児童の思考 | 教師の支援 | 評価規準と方法 | | |
|-----------|-------------|--|---|--|--|--|
| | | | | 関心・意欲・態度 | 思考・表現 | 気付き |
| であう 1 | いっしょがいいね① | ◎家庭生活を支える家族のことや自分のことを考え、自分と家族とのかかわりに関心をもてるようにする。 ○家の人がにこにこしているのはどんなときか、笑顔をみて感じるなどについて話し合う。 ・いっしょに旅行に行って楽しかった。 ・病気のとき、お仕事を休んで病院に連れて行ってくれた。 ・お誕生日をお祝いしてくれた。 ・運動会で1等を取ったときににこにこした。 | ・写真を見ながら家族との楽しい思い出や日常生活でのふれあい、自分への愛情を感じるなどなどを自由に発表させる。 ・プライバシーへの配慮をする。 | 自分の家族や、家族と一緒にいて楽しかったことを思い出そうとしている。 (学習シート・発表) | 自分の家族のことや家族と一緒にいて楽しかったことを思い出し、伝えている。 (学習シート・発表) | それぞれがかかわり合って家庭生活が楽しいものになっていることに気付いている。 (学習シート・発表) |
| かかわる 7 | 家族の一日②③④ | ◎自分の一日と家族の一日の生活の流れを取材し、家族の生活にリズムがあることや様々な家事を家族が行っていることに気付く。 ○調べたことから、世話になっていることや家族の役割の重要性に気付く。 ・自分が学校に行っている間、こんなに家でやるがあったんだ。大変だな。 ・自分もたくさんやってもらっていることがあるな。 | ・取材する家族の選択は2人以上にして離れている祖父母（下校後に帰る場所等）にも広げさせる。 ・取材したことを基に気付いたことを学習シートにまとめさせる。 ・自分のためにしてくれている事も考えさせる。 | 家の人に取材して学習シートに必要なことを書こうとしている。 (学習シート) | 自分が学校に行っているときの家族の役割について気付いたことや感じたことを伝えている。 (学習シート・発表) | 家庭生活でそれぞれ役割を持っていることに気付いている。 (学習シート・発表) |
| | 家の中でさがしてみよう | ◎家庭生活の中で自分も役に立ちたいと意欲を持ち、自分にできそうな仕事を考える。 ○調べたことを伝え合うことで、各家庭では役割分担が違うことや、友達がしている仕事や手伝いを参考にできそうなことを考える。 ・友達の家は、お父さんがごみを出しているんだな。 ・新聞を取ってくるというお手伝いもいいなあ。できそうだな。 | ・家で取材できるように学習シートを工夫する。事前に家庭に協力を依頼する。 | 家庭生活を支えるための家族の仕事調べようとしている。 (学習シート) | 家庭生活を支えるための家族の仕事調べ、学習シートに表現している。 (学習シート) | 家庭生活にはそれぞれ果たしている役割があることに気付いている。 (学習シート) |
| | 家の仕事にちょうせん | ◎挑戦する仕事を決めて取り組み、成果や課題をまとめる。 ○自分一人で行えること、やってみたくて決めて計画する。 ○1週間ほど家庭で学習カードに記入しながら仕事をする。 ・かたたたきは時々しかやっていないから、毎日やってみよう。 ・カーテンを開ける仕事に挑戦しよう。 | ・学習シートを準備して1週間取り組ませる。 ・学習シートには、自分の感想や家の人から評価を記入してもらおう。 | 家庭の中でできそうな仕事を見つけて取り組もうとしている。 (学習シート) | 家庭の中で自分ができることについて考え、実践している。 (学習シート) | 自分一人で行えることに気付いている。 (学習シート) |

| | | | | | | |
|-----------|---|---|--|---|---|--|
| | しよう ⑥ ⑦ ⑧ | <p>○学習カードをまとめ発表する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・とても褒められて、うれしくなったよ。 ・毎日やることができ自信がついたよ。 ・毎日できなかった。思ったより難しかったな。 ・忘れてしまうことが多かったな。 ・簡単にできたから、他にもやりたいな。 </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の取り組みを振り返り、まとめることで、成果や課題が明確になるようにする。 ・学級全員の取り組みが分かるように掲示を工夫し、次の活動に生かせるようにする。 | | | |
| あらわす 4 | にこにこ大きくせんをしよう ⑨ 本時 ⑩ ⑪ ⑫ | <p>◎家族のために自分ができることを考えて「にこにこ大きくせん」を行い、その様子や結果を伝え合うことを通して、家族を喜ばせるには、色々な方法があることに気付く。</p> <p>○家族が喜ぶことを考える。(本時1/4)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日ちゃんとお手伝いすること。 ・上手にやること。 ・新しい仕事やお手伝いをする。 ・頼まれたらすぐやること。 ・誕生日会を開くこと。 ・自分の事をちゃんとやること。 </div> <p>○「にこにこ大きくせん」を行う計画をし、準備をする。 (1週間ぐらいの期間で実施する。)</p> <p>○活動を振り返り、その様子や結果をまとめる。</p> <p>○まとめたことを発表し、気付いたことを友達と伝え合う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・グループで家族が喜ぶことについて考えを交流させるようにする。 ・次の計画につながるよう学習シートを工夫する。 ・児童の作戦に合った計画を立てやすいように計画表を工夫する。 ・「にこにこ大きくせん」の様子や結果をこれまで学習した表現方法でまとめさせる。 ・伝え合う場を設定し、家族が喜ぶことにはいろいろな方法があることに気付かせる。 | 家族のために自分のできることを行おうとしている。 (学習シート) | 自分でできることや家族が喜ぶことを考えている。 (学習シート) 作戦にあった計画表を作っている。 (学習シート) 活動の様子や結果を工夫して表現している。 (新聞・ポスター・絵日記風) | 友達の発表を聞いて、家族を喜ばせるには色々な方法があることに気付いている。 (学習カード) |
| ひろげる 2 | 冬休みも「にこにこ大きくせん」をしよう ⑬ ⑭ | <p>◎冬休みに継続してお手伝いすることや、年末年始ならではの「にこにこ大きくせん」を考えて計画を立て、実行する。冬休み後には活動を振り返る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・冬休みには、大掃除を手伝うよ。 ・お客さんがたくさん来るから、お母さんの手伝いをたくさんしたいな。 ・雪かきを頑張りたいな。 </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・普段の手伝いや冬休みの手伝いなどやりたい仕事が見付かるように話合いで気付かせる。 ・冬休みの計画に組み込ませて、絵日記などにまとめさせ、休み明けに発表させる。 | 継続して仕事を行おうとしたり、年末年始の手伝いを進んでしようとしていたりしている。 (発表・学習シート) | 年末年始の家族の仕事に自分なりにかかわろうと考え計画を立てている。 (学習シート) | 冬休み中にさらに自分が家族のためにできる仕事や役割があることに気付いている。 (発表・学習シート) |